

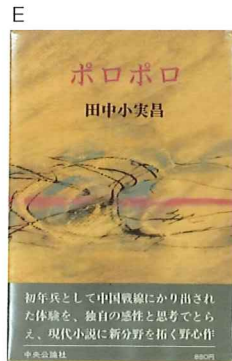
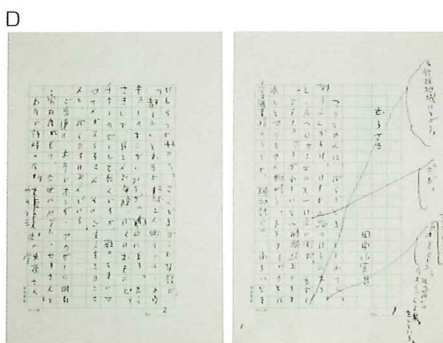
作家・田中小実昌(大正14(1925)年~平成12(2000)年)は、昭和61(1986)年から逝去するまで練馬区早宮で暮らしました。毛糸の帽子がトレードマークの田中は「コミさん」や「コミちゃん」の愛称で親しまれ、執筆活動のほか、テレビや映画出演など幅広く活躍しました。

田中の作品は小説、随筆、翻訳、紀行、映画評論など多岐にわたります。執筆活動は主に翻訳から始まり、カーター・ブラウンの推理小説などの、軽妙洒落な訳文が目されました。次第に小説も発表するようになり、昭和54(1979)年に、戦中や終戦直後のできごとを題材とした「浪曲師朝日丸の話」「ミミのこと」で第81回直木賞を受賞、同年に父親のことなどを書いた短編集『ポロポロ』で第15回谷崎潤一郎賞を受賞しました。

独立教会の牧師を父にもつ田中は、旧制福岡高等学校在学中に初年兵となり出征、復員後は軽演劇場の文芸部員、米軍将校クラブのバーテンダー、香具師などのさまざまな職を転々とし、それらの経験からも作品を書きました。整然たる物語となってしまうまい、言葉が慎重に用いられ、独特の文体が生み出されました。飄々とした田中の表現には多くの読者が惹き込まれました。

本展では、当館に一括して寄贈された原稿や書簡、書籍、写真資料などを中心に、田中の作品を紹介します。

- A 新宿ゴールデン街にて 昭和49(1974)年 撮影:木村恵一
- B 愛用の毛糸の帽子
- C 「香具師の旅」(泰流社 昭和54(1979)年)  
直木賞受賞作「浪曲師朝日丸の話」「ミミのこと」が収録されている。
- D 草稿「むらさき」  
絶筆となった「むらさき」の草稿。「天国までぶらり酒」(実業之日本社 平成12(2000)年)に収録されている。
- E 「ポロポロ」(中央公論社 昭和54(1979)年)  
谷崎潤一郎賞受賞作。



### 会期中のイベント ※定員は変更になる場合があります。

#### 1 トークショー 「コミさんのメモをのぞいてみたら」

日 時: 7月1日(土) 14時~15時  
 出 演: 田中開(田中小実昌令孫)  
 南陀楼綾繁(ライター・編集者)  
 定 員: 90名(抽選) 参加費: 無料  
 会 場: 石神井公園ふるさと文化館 1階多目的会議室  
 申込締切: 6月15日(木)必着



公式ホームページ内  
イベントページ

【田中開さんコメント】田中小実昌をよく知るライターと通?な観点から本展示の見どころなどをお話します。また閉架されているメモ帳やノートといったレアな資料についても語る会です。

#### 2 展示解説会

日 時: 7月13日(木)、8月5日(土) 各日14時~(30分程度)  
 定 員: 50名 参加費: 無料  
 会 場: 石神井公園ふるさと文化館 2階企画展示室  
 申 込: 当日先着順受付

**①の申込方法** 往復はがきまたは当館ホームページ申込フォームにて ①イベント名 ②氏名(ふりがな・2名まで) ③住所 ④電話番号 を記入の上、石神井公園ふるさと文化館(〒177-0041 東京都練馬区石神井町 5-12-16)へ

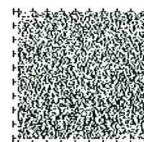


#### 石神井公園ふるさと文化館・交通案内

- 西武池袋線「石神井公園駅」下車徒歩15分
  - 西武新宿線「上井草駅」下車徒歩25分
  - 西武バス 「JA東京あおば」下車徒歩5分 荻14(石神井公園駅南口~J A東京あおば~上井草駅~荻窪駅)
  - みどりバス「JA東京あおば」下車徒歩5分 関町ルート(関町福祉園~武蔵関駅南口~上石神井駅~J A東京あおば~練馬高野台駅~順天堂練馬病院)
  - 西武バス 「三宝寺池」下車徒歩2分 荻15(長久保~大泉学園駅南口~三宝寺池~上井草駅~荻窪駅~阿佐ヶ谷駅)
- \* 一般利用者用駐車場はありませんので、周辺の有料駐車場をご利用ください。



〒177-0041 東京都練馬区石神井町5-12-16 TEL:03-3996-4060  
<https://www.neribun.or.jp/furusato.html>



「Uni-Voice」コード

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、手指の消毒・検温など、ご協力をお願いしております。また、感染状況によっては展示会および関連イベントの中止や内容を変更する場合がございます。